



問われる知事発言

海外資本でも地域への社会的責任をはたせ!

市財産を民間に売却・転売 夕張リゾート破産で閉鎖へ

12月29日の道新記事によると、鈴木直道知事は28日の記者会見で、夕張リゾート(株)が近く破産申し立てを行うことについて「残念。雇用など地元経済に影響」と述べ、「年明けにも市や国と連携し再就職などを支援する」。また、夕張市長当時のリゾート施設の民間売却の判断について「(売却先を)広く公募し、選考委員会や議会の議論を踏まえ決定した」と述べ、適切だったとの認識を示したとあります。

再就職や生活面などの支援等は当然としても、「(売却先を)広く公募し、選考委員会や議会の議論を踏まえ決定した」との発言には重大な異議があります。

売却担当者は「締め切りを二日過ぎていない」「日本の企業ではない」ことを理由にして、桁違いの金額を用

意していた新千歳就航の中国系航空会社の話の聞くこともせず、また、選考委員会や議会にも、この件について何の報告もありませんでした。

2017年2月8日、既定路線のように民間投資会社・元大里アルエステート(本社は東京)にリゾート施設を2億4千万で売却。(運営会社組織は加森からの買い取り)

もう一人の担当者、当時の産業振興課長は、19年4月末日で自己都合退職していま

さらに、「夕張に根づいて100億の投資をし、長年営業を継続する」という口約束のみなのに、信頼関係がある」と転売禁止条項もつけず、3年間の固定資産税免除までつきました。にもかかわらず、わずか2年の

辞職願を提出。2月9日には知事選出馬を表明しました。さらに、売却担当者の市職員の一人は、道からの出向職員で、売買契約後すぐに道を退職し、売却先の元大里リゾートに入社。2018年12月には取締役就任していま

「元大」の営業開始後、口約束で「雇用する」と言いながら、後

「元大」の営業開始後、口約束で「雇用する」と言いながら、後

「元大」の営業開始後、口約束で「雇用する」と言いながら、後

「元大」の営業開始後、口約束で「雇用する」と言いながら、後

「元大」の営業開始後、口約束で「雇用する」と言いながら、後

「元大」の営業開始後、口約束で「雇用する」と言いながら、後

「元大」の営業開始後、口約束で「雇用する」と言いながら、後

「元大」の営業開始後、口約束で「雇用する」と言いながら、後

「元大」の営業開始後、口約束で「雇用する」と言いながら、後

「元大」の営業開始後、口約束で「雇用する」と言いながら、後

「元大」の営業開始後、口約束で「雇用する」と言いながら、後

「元大」の営業開始後、口約束で「雇用する」と言いながら、後

「元大」の営業開始後、口約束で「雇用する」と言いながら、後

「元大」の営業開始後、口約束で「雇用する」と言いながら、後



北海道 夕張リゾート破綻に広がる不安



除雪されないままのホテルを歩くのはたやま氏(右)12日、北海道夕張市

はたやま氏が市長訪問

夕張リゾートの突然の経営破綻で雇用と地域経済への不安が広がる北海道夕張市。日本共産党の、はたやま和也前衆議院議員は12日、現地を訪ね、厚谷市長からマウントレーニススキー場やホテルマウントレーニス運営する夕張リゾートを運営する夕張リゾート対策や要望を聞きまし

た。スキー場のリフトは止まり、ホテルは除雪もしないまま放置されています。施設は2017年、鈴木直道市長(当時、現知事)が中国系企業に破格の約2億円で売却。その際、転売禁止が盛り込まれていなかったことから、中国系企業は19年、香港の投資会社に約15億円で購入しました。厚谷市長は、連絡が取れた夕張リゾート代理人弁護士にコロナ収束後の事業再開と施設を劣化させないための維持管理、市への情報提供を求めたと説明。「本州からのスキー・修学旅行の予約は、道内の他のスキー場に振り替えた」と聞いている。宿泊施設が運営されなければ夏のスポーツ合宿もなくなる」と危機感をにじませました。「スキー場がオープンすると思っ働いていた知人は数カ月、賃金が未払いだと聞いている」と食堂を経営する橋場英和さん。「中国系資本に売却したことがこんな結果を生んだ」と憤りま

海外資本であっても地域への責任はある

はたやま氏は「外資であっても地域経済への責任は免れません。国会や道議会と連携し、雇用を守るため頑張ります」と表明。熊谷千子市議が同行しました。

(しんぶん赤旗1月14日号より)

をきちんと保障していく責任があります。

教育長に要請と懇談 —新婦人夕張支部—



新日本婦人の会夕張支部では、1月20日、生方は、学習指導の小林広明教育長に「卒業式・入学式に『日の丸・君が代』を強制しないで子どもたちが主人公になる式としてください」と「公立学校への『1年単位の変形労働時間制』を導入しないように求める要請書」の二種類の要請を行いました。

書面で要請した後、先生方のご苦勞の様子を伺いました。



小林教育長は、「先か、これまでにはなかった児童生徒の毎朝の健康チェックや感染予防のための仕事があり、また行事が中止になり、子どもたちの自主性や創造性を育成する機会が失われ、成長発達を保障できないもどかしさを感じています。

子どもに持病がある保護者は、感染が心配で休ませる事例もあります。

変形労働時間制については、先生方の過密・長時間労働にやっとながら当たられたという面もあり、更なる改善の必要があり、これから深めていくべき課題です。」と話していました。

教職員の働く環境をよくすること、子どもが安心して学べる環境を再認識して懇談を終えました。

くずさんの 夕張歴史散歩 (151)

明治維新 65 朝鮮植民地支配 ④

関東大震災での朝鮮人殺りく ②

混乱を利用して

日ごろの朝鮮蔑視が、混乱の中で恐怖となり流言蜚語もあり、朝鮮人殺りくに走るので、「付近朝鮮人不穩の噂あり」と一番最初に報道関係に流し（2日）たのは、当時治安行政のトップ警視庁官房主事であった「正力松太郎」*でした。

また彼は「社会主義者に対し監視を厳にし、治安を害すると判断したものは容赦なく検束せよ」と命じています（11日）。

軍や警察による官憲テロが、混乱に火を注いで恐怖心を煽ったのです。巷には家を失い家族も家も失い職もなくした民衆が溢れます。

折から、労働者の中でたまたかいた南葛労働組合の活動家「河合義虎」ら十名が検挙され、亀戸署の演武場前の広場で軍隊により銃剣で刺殺されます。（亀戸事件）

「大杉栄」夫妻と甥も虐殺

まだ余震くすぶる9月16日、アナキストとして著名だった大杉栄・伊藤野枝夫妻とその甥の橘宗一（七歳）の3人が大手町にあった東京憲兵隊本部に連行され、「甘粕正彦」憲兵大尉によって扼殺されたうえ、裏の古井戸に投げ込まれます。混乱に乗じて無政府主義者であっても、容赦はありませんでした。（甘粕事件）

余談になりますが、この事件の犯人甘粕正彦は、一応は軍法会議にかけられ禁固10年の判決を受けますが、3年の服役後に釈放、満州にわたります。そこで「東条秀樹」*の側近となり特務機関で功績をあげ、満州国の政府要人となり暗躍します。

*聞きなれた2人の名前が出てきました。



島山和也「かけある記」
前衆議院議員
はたやま 和也

国民に顔を向けた政治に

「もう資本主義の世の中を見直す時だと思いううになりました」。建設会社勤務から障害者福祉にかかわるようになり、コロナ対策で公的責任を果たそうとしない政府の姿を見て、こう感じたこと。道南のある町で、私と同世代の方です。

「何で生産性ばかりを重視する社会になってしまったのでしょうか」。室蘭市での「つどい」では、精神障害を抱えているという方が発言されました。相模原市やまゆり園での事件も上げて、「障害者が生きにくい社会を変えてほしい」との訴えを重く受け止めました。

役に立たなければ人間までも突き放し、もうやるべき最優先だという新自由主義。長く続いた自民党政治のもと、どれだけの人が傷つけられてきたことか。しかし今の瞬間も、病院で、福祉施設で、命や尊厳を多くの方が支えています。コロナ禍の苦しみを、いっしょに乗り越えようとの声もあがっています。そのなかの一人となつて、さらに私も力を尽くしたい。

ウソやごまかしが多かった安倍前首相の答弁には腹立たしさがありませんでしたが、原稿ばかりに目を落とす菅首相の答弁にはガツカリどころか悲しくもなります。四月の北海道2区補欠選挙も、自民党は候補を立てません。国会でも選挙でも、国民に顔を向けられないのです。一刻も早く政権を代えたい。

先週、核兵器禁止条約が発効し、宣伝の場には笑顔があふれました。今度の総選挙は笑顔を日本中に広げる選挙だと、あらためて心に誓っています。